

体育科・保健体育科「陸上運動系」

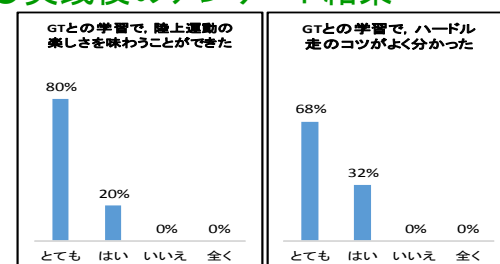
運動・スポーツを見る、行う、支える、知る子どもへ ～陸上系～

期待できる効果

●こんな子どもの姿を期待できます

- ・一流の選手から直接指導をいただくことで、特性を深く味わう子ども
- ・自ら目標をもって挑戦し、あきらめずに粘り強く取り組む子ども
- ・オリンピックやスポーツへの関心を高め、積極的にかかわる子ども

●実践後のアンケート結果



1 オリンピアンとハードル走

体育科・陸上運動「ハードル走」(第5学年)の単元の導入に、オリンピックの山崎選手を招聘し学習をしました。まず、山崎選手が現役時代に活躍されている映像を視聴しました。その後、「子どもの頃は負け続けたこと」「体の小さい自分を少しでも大きく見せるように良い姿勢を保つ努力をしたこと」等の話を聞きました。学習の場を運動場に移し、ハードル走の実技を行いました。まず、山崎選手がお手本となる動きを見せてくださいました。また、上手く走り越す動きができない子どもに優しく指導してくださったり、上達の過程をしっかりと褒めてくださったりしました。子どもたちにとって、ハードルへの恐怖心を取り除き、リズミカルにハードルを走り越えることの楽しさを味わうとても貴重な時間となりました。次時からの学習でも、GTが残してくださった「カッコいいハードラーになってください」という言葉を励みにしながら意欲的に学習に取り組むことができました。自己のめやすの記録に向かって、ハードリングに関する課題を解決し、単元最後の記録会に取り組ませました。この取組が、次年

度の「走り高跳び」の学習、「ペアで日本オリンピック記録に挑戦」といった学習につながっていきました。

2 シューズメーカーのGTと走の運動

陸上選手のシューズを手掛けていらっしゃるシューズメーカーの方を講師にお招きし、陸上教室を行いました。子どもたちは、活躍している選手の陰で、支えていらっしゃる方がいることを初めて知りました。靴の履き方や足の運び方一つでタイムが変わることを実技を伴いながら御指導いただき、陸上運動の奥の深さや楽しさを実感することができました。この取組は、次年度のオリンピック成迫選手との陸上教室にも繋がっていきました。



ココがポイントです！

- ①GTと打合せを綿密に行い、実演を見せていただく、指導内容に合った助言をいただく等を伝えておく必要があります。
- ②技術指導の内容や伝え方が難し過ぎないように注意が必要です。

山崎選手との学習の様子



成迫選手との学習の様子



シューズメーカーの方との学習の様子

